

おもしろいなー 野菜アート!!

主婦目線で芸術作品が誕生

野菜は、愛らしさに満ちている。野菜嫌いの人も思わず微笑む「野菜アート」写真展が、先月、寝屋川市立市民ギャラリーで開催された。

作者の小森敏枝さんは、市民サークルの「写団・四季」に所属する会員。小森さんの第一回野菜アート展が、会の第17回写真展と同じ会場で開かれた。小森さんは、3年前、夫を見送った空虚感でうつ状態になっていた時期に、このサークルと出会い、カメラを持つようになつた。専業主婦で日常生活で写真を撮る機会がなかつたが、被写体と向き合い創作意欲が沸き起つて豊かな時間。講

師の小北勅写真協会会长の指導のもと、仲間とともに上達を目指す楽しみを見出した。そんなある日、頂き物の自家栽培野菜を見て形の妙に魅かれ、造作してみたら面白い写真が撮れた。その写

真を見た小北さんから「あなたは野菜アート専門に撮りなさい」と、アドバイスを受けて、いつも「野菜も人間も一緒に長持ちする野菜は、体力の強い人間のようです」と



作品と共に小森さん



玉ねぎの作品

玉ねぎが
里芋が
たぬき
になつた。
なつた。
公開となつた。